



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

**子どもたちの作品から** 子どもたちは、素直にいろいろなことを表現します！

☆8月の目標

☆元気なあいさつをしよう  
※授業の始めと終わりのあいさつをしっかりとしよう！

☆配布物のお知らせ  
1 学校便り 19号

…主な日程…

- ・9月24日 運動会
- ・10月1日（予備日）

☆夏休みの出来事

六年二組

イレレシ 愛子

私は現地校が終わった次の日に、日本へ行きましました。私は、いつも日本に行く時に、不安といいい気持ちになります。日本についた時は、わくわくしてうれいしです。私は、今回夏に日本に行ったから、外もまわりの空気も暖かくて、いい気持ちでした。日本というにおいがあるかは知らないけれど、いつもにおいがすこくよかったです。

私は、日本に在る間、いろいろなことをしました。六週間もいたので、いろいろなことをする時間がありました。最初の週は、お買物に行ったり、のんびりしました。次の二週間は、日本にある学校に行きました。私が行った学校の給食は、いつもみたいにおいしかったです。学校の勉強はそんなに難しくなかったです。二週間学校に行ったら、もう二週間しか日本に在る時間がありませんでした。だから、その二週間は、いろいろなことをしました。友達に会ったりすこく楽しいことをいっばいしました。いろいろなことが思ったりおりにいかなかったけれど、それでもすこく楽しかったです。日本に在る間、よくいっばい遊んだけれど、この絵日記とか作文書いたり宿題もやりました。もう日本に在る最後の日になってきた時、さみしかったです。そして、またうれしかったです。ずっと日本に在る間、家族に会いたいと思っていたので、帰るころに違う気持ちになった時、なんか「あれ」と思いました。日本は楽しかったと聞かれたら、私はいこう答えます。ほい。日本は楽しかったけれど、アメリカに戻りたくなくなりました。

☆夏休みの出来事

江泉 大和

七月二日にナイアガラの滝を見に家族で行きました。ナイアガラの滝の近くのホテルに着くまで、十二時間以上かかりました。ナイアガラの滝を見に行きました。最初は、船に乗って近くまで見に行きました。アメリカ側とカナダ側のナイアガラの滝の近くを通ると水しぶきがかかりました。近くで見てアメリカ側の滝より、カナダ側の滝は、落ちる水量がとても多く、世界一の滝なんだと思いました。

次に、歩いてカナダ側のナイアガラの滝に行く途中リスを何匹か見かけました。ナイアガラの滝に近づくとつれて少しずつ水しぶきが飛んできました。見に行った日がとても暑かったので、とても気持ちよかったです。また、今度ナイアガラの滝に行くときは、夜に行きたいです。



「セロ弾きのゴージュ」を読んで 永峯 蒼士

ぼくが読んだ本は、セロ弾きのゴージュです。主人公ゴージュがセロという楽器を練習する話です。ぼくがこの本を選んだ理由は、五つの話の中でこの本の題名だけ聞いたことがあったからです。

ぼくがこの本を読んで一番印象に残った場面は、夜おそくにゴージュがセロの練習をしている時に、三毛ねこが勝手にゴージュの畑のまだ育ちきっていないトマトをもってきてそれにゴージュがどなったところでした。理由は、ぼくもねこにいらついたからです。ねこがゴージュの畑のトマトなのに、「これ、おみやげです。たべてください」と言ったのは、おかしいと思いましたが、他にも、シェーマンのトロイメライをひいてごらんささい。聞いてあげますから」と言ったところもえらそうでなまいきだと思えました。その時、ゴージュはなまいきだと言っておこったけれど、すぐに気を変えて、「では、弾くよ」と言ってインドのトラがりというねこが苦しむ曲を弾きました。ぼくはその行動についてどうだと思えました。ぼくだったら同じようなことをするか、おいだすと思えます。

ぼくが読み始める前は、セロを弾くのが上手な人の話だと思っていたけれど、読み終わったら違いました。ぼくが今まで読んだことがあった本は、上手な人の本だったので新しく感じました。このような本をまた読んでみたい。題名しか知らなかった本の内容が知れてよかったです。

六月二十八日から七月一日まで、私は、インディアナエリート(チア)キャンプへ行きました。ものすごく楽しかったです。一番仲良しになった子は、マジソンです。金ばつですごいばくてんができます。月、火、水、木ずっとパフォーマンスを練習してきました。そして、金曜日にお母さんやお父さんたちの前でやりました。最初はダンス、ジャンプ、スタンプ、バク転でフィナルのダンスです。すごくみんなで協力してやったパフォーマンスだと私は思いました。私の一番最初のキャンプでした。最高でした。私は、毎日パフォーマンスのビデオを見て、あのキャンプみんなにまた会いたいとずっと思っています。私が一番見たいのは、マジソンとアベリーです。キャンプ大こうふんでした。

★「ヒロシマ8月6日少年の見た空」 黒澤 雄太

この本は、日本が戦争をしている時、つまり、一九四五年八月六日におきた出来事です。

この本の主人公、もりおが中学生になつたばかりのころの日本は、アメリカとの戦争の真さの中でした。そこで運悪くもりおは、そのアメリカ軍がはなつたげんばくにまきこまれて死んでしまいます。この本の終わりよきは、戦争中の日本はまるで、世界が終わったかのように、建物はずれ、人々は重いやけどになり、およそ二十万人以上の人たちの命がなくなつたことなど、わしく書かれていたことです。あと、この本のわりよくなところは、読みやすくじつさいのもりおたちの写真や戦争中のじょうきょうが、わかりやすく書かれた絵などが、いっ

ぱい入っているのです、すごくいいと思いました。そして、この本の読んでほしいところがあります。それは、もりおがげんばくのしようげきでゆえふめいになったあと、みんながもりおを探しつづけるシーンです。雨の強い日でも、毎日毎日探すことによつて、もりおのぼしょへのヒントがわかります。しかし、もりおは見つかりません。とうとうもりおが死んだことを町のえらい人などがみとめました。その後、もりおの母は、シヨックのあまりおかしくなつたのか、真夜中に家のカギをあけて、今日こそ、もりおが帰ってくるかもしれないと言つて、ずっとずっと待っていました。みなさんには、このシーンをみてほしいです。心がひきつけられます。その後のことです。もりおは、やはり帰つてきません。この後の母の子を思う気持ちがよくわかります。これでこの本は、いよいよ終わります。悲しい終わり方だったので、感動しました。最後に、この本は、本が苦手なぼくでも読めるいい本でした。絵や写真がわかりやすく、すごく読者に親切でした。ぜひ一度読んでみてください。

最後に、この本は、本が苦手なぼくでも読めるいい本でした。絵や写真がわかりやすく、すごく読者に親切でした。ぜひ一度読んでみてください。



★一年一組 たがわ しおん

うみへいった。ひろみちゃんがくるまでつれていってくれた。イルカのショーをすいぞくかんでみた。おもしろかった。うみのなかであるいたとたんザブーンとなみがきた。なみのしたでめをあけていておみずがみえた。

びっくりした。



☆いしくろ そうた  
ナイアガラ  
のたきをみにいった。に  
じもみた。よるは、ライト  
アツと  
はなびをみた。  
きれいだつた。  
つぎのひの  
あさ、  
ふねにのつた。  
あかいカッパを  
きたけど、  
ぬれた。  
たきが、  
すごく  
おおきかつた。



☆ながや いちか

わたしはなつやすみになわとびのれんしゅうをしています。  
きょうは、はじめてあやとびができたようになりましつた。どういふうにできたかというと、おかあさんにおしえてもらつたとおりに  
なんかいも  
れんしゅうを  
しましつた。  
とても  
うれしつた  
たのしつた  
です。



